



南小だより さわやかなあいさつ 明るい教室 きれいな学校

学校教育目標 「心豊かにたくましく生きる児童の育成」

平成29年7月20日

かしこい子 やさしい子 たくましい子

第5号「夏休み号」

川越市立高階南小学校

思い出に残る楽しい夏休みを！

新井 啓太郎

明日から、42日間にわたる長い夏休みが始まります。林間学校を楽しみにしている5年生、お父さんやお母さんの田舎に帰って、おじいさんやおばあさんに会うのを楽しみにしている子、家族で出かけたり、旅行したりするのを楽しみにしている子等々、子どもたちは、みんな心待ちにしていることと思います。

何十年も前の、自分の夏休みがどうであったか比べてみたところ、まず天候が違いました。今ほどではありませんが、毎日暑いのは同じでした。ただ、暑い日には必ずと書いていいほど短時間の夕立が降ったり雷が鳴ったりしました。その後涼しくなって、寝るときも網戸のお世話になったり蚊帳を吊ったりすれば、我慢できないほど暑くて眠れないような日はあまりありませんでした。ですから、エアコンのある家などほとんどなく、自動車にも最初からエアコンはついていませんでした。家族旅行に行く家庭は少なく、両親の田舎に遊びに行くことをとても楽しみにしていました。田舎が遠いことをうらやましいと言う友達もいました。遊びはもっぱら外遊び。虫取りは天才的で、昆虫を売っている業者が、「持ってくれば買ってあげるよ。」と言いに来るほどでした。

そんな中で、たくさん友達と遊ぶと色々なことができて楽しいこと、そのために上級生の言うことを聞くこと、喧嘩したときの仲直りの仕方等、自然に学んだ気がします。また、夕立は直ぐやむかしばらく待っていれば大丈夫なことや、虫のたくさんいる場所、なぜそこに虫がいるのか等も、みんなと過ごす中で自然と身についた知恵だったように思います。またある時、虫取りに夢中になるあまり、農家の敷地内に黙って入ってしまい、見つかって大変しかられたことがありました。黙って入ったことを謝り、聞かれた名前と学校名を正直に伝えると、正直で偉いと誉められ、次にくるときは声をかければ虫を捕っておいてあげるから、と言われました。今考えてみると、大人がおおらかで、どの子どもでもやさしく見守ってくれていたように思います。間違いはきちんと正してくれて、正直に生きることの大切さを教えてくれたように思います。子どもたちも集団で遊ぶことが当たり前で、その中でいざこざやめ事で、大人に助けってもらったことはほとんどありませんでした。

社会は激しく変化し、子どもたちを取り巻く環境も、大きく変わりました。しかし、時代とともに変わっていくもの「流行」と、いくら時代が変わっても変わらない大切なこと「不易」を、大人がしっかり見極め、子どもたちに伝えて行くことが、私たち教師、大人の役目と考えています。

この夏休み、是非子どもたちとたくさん話してみてください。学校のこと、友達のこと、習い事のこと、塾のこと、好きなこと、将来の夢等何でもいいと思います。また、お父さんやお母さんの子どもの頃のこと、是非教えてあげてください。子どもたちにとって忘れられない、思い出に残る楽しい夏休みになることと思います。

安心・安全な夏休みを！

安心・安全な夏休みとなるよう、次の3つのことにご家庭でも注意をお願いします。

その1、交通事故に遭わないように、十分注意しましょう。

交通事故原因のトップは、飛び出しです（歩行中でも自転車乗車中でも同じ）。

ご家庭で → 交通安全については、「飛び出しはダメ！」の毎日の声かけと見守りをお願いします。

その2、家の仕事や手伝いをしましょう。

毎日の手伝いは、良い習慣になります。家族のために役に立つような手伝いをさせてください。

ご家庭で → チャレンジしたことに「助かったよ。ありがとう。」のねぎらいの言葉をお願いします。

その3、生活リズムを整え、心も体も元気に過ごしましょう。

夏休み中の生活の乱れや体調不良により、9月からの新学期に、元気に登校できなくなる傾向があります。また近年は、2学期始業式の9月1日が自殺者数の最も多い日となっており、社会の大問題となっています。

ご家庭で → 少年は手を離せ目を離すな（子育て四訓）、しっかりと見守りをお願いします。

※ サマーリフレッシュウィークについて（裏面に文書有り）